

【月案】6月・0歳児

今月の保育のポイント

- 湿度が高く、気温も高めの日が多い。子どもにとっては蒸れるなどして不快と感じることの多い時期なので、沐浴を実施したりおむつ替えを頻繁にし、不快から快の変化を実感できるよう保育する。
- つかまり立ち、這う、ハイハイを楽しく十分に行えるよう、スペースを確保し、追いかけて楽しめる遊びを用意しておく。来月のプール遊びに備え、子どもの動きを把握しておく。
- 人見知りが始まる子どもに対して、特定の保育者が関わり、安心できる人的環境を保障する。安心できる保育者のそばで、徐々に外への興味を子どもの思いに従って広げていく。
- 子どもがしっかり安心して眠れるように、静かで落ち着く衛生的な環境を用意する。

月のねらい

- 生活リズムを安定させ、機嫌よく過ごす。
- 保育者との関わりを喜び、ふれあい遊びを楽しむ。
- つかまり立ちやハイハイなどを行い、身体を動かそうとする。
- 衣服交換や清拭、沐浴等を行い、梅雨期を心地よく過ごせるようにする。
- 自ら玩具に触れ、遊ぶことを楽しむ。
- 自分の気持ちを表情や喃語、泣くことで表現する。

週のねらい

その1

- 1週目：特定の保育者との関わりを喜び、ふれあい遊びを楽しむ（教育）
- 2週目：好きな玩具を使って遊びを楽しむ（教育）
- 3週目：戸外で過ごす心地よさを感じる（教育）
- 4週目：意欲的に身体を動かす（教育）

その2

- 1週目：手遊びやリズム遊びをして、保育者と一緒に音を楽しむ（教育）
- 2週目：湿度が高くなる日が多いので、着替えや沐浴などをして快適に過ごせるようにする（養護）
- 3週目：食事や午睡などリズムよく過ごせるようにしていく（養護）
- 4週目：梅雨期の自然に触れ、遊びの中で季節を感じる（教育）

その3

- 1週目：保育者との心地よい関係の中、安定して過ごす（養護）
- 2週目：好きな場所で探索活動を楽しむ（教育）
- 3週目：喃語を発し、応答されることを喜ぶ（教育）
- 4週目：肌状態に留意し、健康で快適に過ごせるようにする（養護）

その4

- 1週目：押したり、引っ張ったりしながら手指を使って遊ぶことを楽しむ（教育）
- 2週目：表情や行動から気持ちを満たし、安心して過ごせるようにする（養護）
- 3週目：様々な物に触れて感触を味わう（教育）
- 4週目：保育者と一緒に水分補給や着替えをして健康に過ごす（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 連休明けには生活リズムが崩れ、保護者と離れる際に不安になる子どももいた。泣いている時間も長かったが、慣れた保育者が寄り添うことで少しずつ落ち着いて過ごす姿が見られた。
- 食事の際には自ら意欲的に食べ進めようとする子どもが多い。食事の量は個々で差があり、家庭で離乳食が進んでいる子は様子を見ながら園でも離乳食に切り替えている。
- あまり慣れていない保育者に抱かれると泣くようになった子どももいる。
- 少しずつ睡眠の時間が安定し、一度目覚めてしまっても抱っこをしたり体をさすったりすることで再入眠できるようになってきた。
- 食前食後に手や口を拭かれることが分かり、大人しく待つ子、拭かれることを嫌がる子がいる。
- ほとんどの子が慣らし保育が終了し、通常保育になった。保育時間が長くなり、夕方になると甘えたり機嫌が悪くなることがある。

教育（遊び）

- うつ伏せの姿勢になって、腕で支えて上半身を起こそうとしている子どもがいる。また、机や柵などを使ってつかまり立ちをしている子どももいる。
- 慣れた保育者との関わりを喜び、ハイハイで近寄ったり笑顔になったりする子どももいる。
- 気になる玩具に触ったり、舐めたりしている。
- 絵本に興味を持ち、開いたり閉じたりして楽しんでいる姿がある。
- ふれあい遊びを喜び、何度もやってもらおうと保育者に近づく子どももいる。
- 誕生日会に参加した際には、年上の友達の様子をじっと見ている。
- 気になるものを追視したり、指差しをする。
- 数歩歩けるようになった子がおり、歩行に意欲的な姿が見られる。
- 戸外へ行く時の帽子の着用や靴を履くことに慣れず、嫌がる子がいる。
- 保育者が手遊びをするとじっと見つめたり、手を上下左右に動かしたりする。
- 慣れない遊びや玩具は不安そうな表情で中々遊び出せない子がいる。
- 年上の子が触れ合おうとすると笑顔を見せる子、泣く子がいる。

活動内容（3つの視点対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活**：特定の保育者との関わりを深め、安定した情緒で過ごす。（ヒト）
環：担任などの特定の保育者とゆったりと関わる時間を設け、親しみが湧くように丁寧に関わっていく。

- **活**：口の周りや汚れた手を拭いてもらい、身の回りを綺麗にする心地よさを味わう。（健やか）
環：よだれで口や手が汚れた際にはその都度拭き、「きれいになったね」「気持ちいいね」など声をかけ、綺麗になった心地よさを感じられるようにする。
- **活**：おんぶや抱っこをしてもらうことで気持ちを受け止めてもらい、安心感をもって過ごす。（健やか・ヒト）
環：子どもが不安な時は、抱っこして欲しい要求に応える形で抱っこをし、信頼関係を築いていく。
- **活**：いろいろな食べ物に慣れ、喜んで食事を進める。（健やか）
環：食事の際には少しずつ様々な食べ物に挑戦し、食材に興味を持てるようにする。無理強いせず、個々の成長に合わせて食事の内容を柔軟に対応できるようにする。また、食材の大きさなどにも気を付ける。
- **活**：スプーンを持って食べられそうな子は、スプーンを持って食べようとする。（健やか）
環：スプーンを持てそうな子どもには勧め、持ってみる体験を重ねられるようにする。
- **活**：うつ伏せや、座って過ごす時間を増やす。（健やか）
環：子どもが無理なく体勢を変えられるように、興味の出るおもちゃを下に置くなどの援助を行う。子どもが座っている時は、転倒しても支えられるように保育者が後ろで付き添う。
- **活**：離乳食に慣れ、意欲的に食べる。（健やか）
環：「美味しいね」「～だよ」と、楽しい雰囲気を進めていく。口から出すようであれば時間をおくなど、子どもの情緒に合わせる。
- **活**：布団で横になって眠ろうとする。（健やか）
環：落ち着いた雰囲気の中で眠れるよう、オルゴールをかけたり、やさしく絵本を読み聞かせるなど、環境を整える。
- **活**：欲求を受け止め、安定した生活を送れるようにする。（健やか）
環：遊びの様子や家庭での睡眠時間、食事摂取量等を考慮しながら欲求を汲み取って、心地よく生活出来るようにする。
- **活**：安心した気持ちで清拭や沐浴をし、綺麗になる心地よさを感じる。（健やか）
環：「お腹、拭こうね」「あったかいお湯だよ」と何をするかしっかりと声がけしながら優しく肌に触れて不安を感じないようにする。
- **活**：食材を舌や歯茎ですりつぶしたり、前歯でかじったりしながら食事をする。（健やか）
環：「甘いね」「ゴックンできたね」「おせんべい割れたね」「アムアムだよ」と笑顔で言葉かけしたり、保育者も口元を動かしながら関わる。
- **活**：様々な方法で自分の気持ちを伝えようとする。（ヒト）
環：泣いたり、手や首を振ったり、指しゃぶりをしたり、一人ひとりの伝えようとする姿を温かく見守り、「○○だったね」と言葉で代弁していき、安心して気持ちを表現出来るようにする。
- **活**：保育者と触れ合いながら心地よくオムツ交換をする。（健やか・ヒト）
環：オムツ交換の前後に体に触れて触れ合い遊びをしたり、交換中は名前を呼びかけたり、言葉かけしながら、オムツ交換も一つのスキンシップの時間として大切にする。
- **活**：安心できる保育者に起こしてもらい、心地よく目覚める。（健やか・ヒト）
環：「おはよう」と優しく言葉かけをしたり、カーテンを開けたりしながら起きる時間を知らせ、抱っこをしながら安心した気持ちで目覚められるようにする。
- **活**：保育者と一緒に水分補給をして健康に過ごす。（健やか）
環：「お水飲もうね」「喉乾いたね」「美味しかったね」と言葉かけしながら小まめに水分補給をして、健康に過ごせるようにする。
- **活**：食事のエプロンを付けようとしたり、衣服の着脱で手足を動かしたりする。（健やか）
環：「エプロン付けようとしてくれてありがとう」「おてて出してくれてありがとう」と言葉かけし、保育者と一緒に身の回りのことに取り組む中で食事の準備や着替えの仕方等を理解していけるようにする。

教育（遊び）

- **活：**つかまり立ちをしたりハイハイをしたりし、身体を動かすことを楽しむ。（健やか）
環：ハイハイなどを自分からあまり行わない子には「こっちだよ」「おいで」など声をかけて誘い、保育者と一緒にハイハイすることを楽しむようにする。子ども一人ひとりの様子を気をつけて見守る。
- **活：**様々な玩具に興味を持ち、触れたり遊んでみたりしようとする。（モノ）
環：行動範囲が少しずつ広がっていくため、安全に探索活動ができるよう部屋の中に危険なものや棚から落ちてきそうなものを置かないようにする。
- **活：**手遊びやわらべうたなどを聞き、真似したり喃語を発したりしようとする。（ヒト・モノ）
環：親しみやすいリズムの手遊びやわらべうたを準備し、繰り返し行うことで子どもと一緒に身体を揺らしたりリズムを楽しめるようにしていく。
- **活：**保育者と一緒に行事に参加し、楽しい雰囲気を楽しむ。（モノ）
環：行事の際には保育者がそばにいて、慣れない環境の中でも安心して過ごせるようにする。人混みで不安になってしまう子どもは少し離れたところから様子を見るなど、安心して参加できる環境を工夫する。
- **活：**戸外に出て過ごす心地よさを感じ、安全なところでは自由に歩こうとする。（モノ・健やか）
環：戸外で自由に動く際には、地面にガラス片や飲み込む恐れのあるゴミがないかなど事前にチェックし、安全に遊べるように環境を整える。
- **活：**砂や植物、虫等の自然物に興味をもち、触れようとする。（モノ）
環：安全に遊べるように保育者がついて見守る。スコップなどのおもちゃ等を通し、自然物に触れられるように働きかける。
- **活：**触れ合い遊びを通して、安心感の中で喃語を発し表現する。（健やか・ヒト）
環：一対一での関わりを大切に、触れ合い遊びや子どもの好きな遊びに寄り添う。喃語に対して「楽しいね」等の声をかけ、対話を大切にする。
- **活：**指さしや喃語で自分の気持ちを伝えようとする。（ヒト）
環：子どものしぐさや指さしがあった場合は、「～だね」「よく見つけたね」等、子どもの思いを汲んで話を丁寧に返していく。
- **活：**安全な環境の中で、歩行することを楽しむ。（健やか）
環：足元の玩具や園庭、歩道の状態に留意しながら、歩行を楽しめるようにする。少し離れた場所から名前を呼んだり、好きな玩具で誘いながら歩行意欲に繋げていき、歩けたことを笑顔で大いに認める。
- **活：**握る、摘まむ、押す等、手先を使って遊ぶことを楽しむ。（健やか・モノ）
環：ボール、マラカス、積み木、紐等の玩具を用意し、保育者が手先を使って遊ぶ様子を示しながら意欲を引き出し、手先の発達に繋げていく。
- **活：**マットや大型ソフト積み木をよじ登ったり、ハイハイしたりする。（モノ）
環：運動発達に合わせて場所を区切ったり、段差の高さを変えながら安全な環境の中で一人ひとりが全身を使って遊べるようにする。
- **活：**雨を見たり雨音を聞いたり、カタツムリを見たりしながら梅雨期の自然を感じる。（モノ）
環：「雨降ってるね」「ポツタンポツタン落ちてくるよ」「カタツムリさんいたね」等と保育者が意識して言葉かけしながら梅雨期の自然を感じられるようにする。
- **活：**保育者と一緒に散歩に出かけ、園外の雰囲気を楽しむ。（モノ）
環：子どもの目線や指差し等を受け止めて「ブップいたね」「自転車だよ」「お友達もお散歩してるね」と言葉かけしながら、ゆったりとベビーカーを押して園外の雰囲気を感じられるようにする。
- **活：**寒天、保冷剤、ボール、風船、絵の具等様々な感触を味わいながら遊ぶことを楽しむ。（モノ）
環：誤飲に十分に留意しながら、活動によって少人数ずつ行ったり場所を分けたりする。初めて

の物に対して不安な様子が見られる時は、保育者が率先して触れる姿を示し、安心した気持ちで遊び出せるようにする。

- **活：**音楽に合わせて体を揺らすことを楽しむ。（健やか・モノ）
環：保育者が歌をうたったり、音源を使ったりしながら様々な音やリズムに触れられるようにし、保育者も一緒に体を動かすことで楽しさを感じられるようにする。
- **活：**保育者と一緒に異年齢児と触れ合い、心地よさを感じる。（ヒト）
環：年上の子が積極的に関わろうとする姿に驚いたり、喜んだり、様々な様子が見られるため、保育者が側で一緒に触れ合うことで安心して異年齢児と過ごせるようにする。

健康、安全面で配慮すべき事項

- ハイハイをしたりつかまり立ちをしたりと活動が少しずつ活発になるが、安定感がなく転倒しやすい時期である。姿勢を崩した際にぶつかったりしていないか、様子をよく見守るように気を付ける。
- 食中毒など流行しやすい時期であるため、室内の衛生環境に気をつけ、こまめに清掃を行う。
- 蒸し暑い日には水分補給をしっかりと行うようにする。
- 湿度や気温が高くなり、汗をかいたり、肌を掻いたりする様子が見られるようになるため清潔を保ちつつ、肌状態を確認していく。
- アレルギー児がアレルギー物質に触れたり口に入れたりすることがないように、清潔な環境を整える。
- 沐浴の仕方について担任間で確認し、安全面に十分に留意する。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- かえるがぴょーん／なぐり描きで雨の日製作／てるてる坊主のガーランド

歌

- とけいのうた／おとうさん／かえるのがっしょう

絵本

- じゃあじゃあびりびり／ぶー ぶー ぶー／どーこだ どこだ

手遊び

- サイダー／かきごおり／いわしのひらき

室内室外遊び

- 新聞紙プール／魚釣り／転がしボーリング

行事

- 保育参観（親子ふれあいデー）

- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- 入梅（6月）
- 虫歯予防デー（6月4日）
- 歯と口の健康週間（6月4日～10日）
- 時の記念日（6月10日）
- 夏至（6月中旬）
- 父の日（6月第3日曜）

食育

- 柔らかいものを家庭で食べている子どもは、少しずつ噛んで食べるものにしていく。
- 食中毒が流行しやすい時期であるため、食品の管理に気を付ける。
- 保育者の見守りの中、手づかみで食べることを楽しむ。
- 見たり触れたり、食べることを通して食べ物の感触を味わう。

異年齢保育

- 友だちの姿をまねて玩具を片付けられたときは、「きれいになったね」と伝え、意欲を育む。
- 探索範囲が広がってくるため、周囲の安全に配慮しつつ、十分に好奇心を満たせる環境を整える。
- 友だちが使う玩具への興味に寄り添い、一緒に遊びながら、安全な使い方を知らせていく。
- 体操で友だちの動きを自分なりにまねる姿に寄り添い、体を動かす楽しさを共有する。
- 子ども同士の関わりを見守り、丁寧に言葉を添えながら、心地よくやり取りできるよう援助する。

職員間の連携

- 何でも口に入れたり、よだれが多い時期のため、玩具だけでなく、床や壁もこまめに消毒する。
- 子どもが安心して沐浴できるよう、役割分担を決め、特定の保育者が一定の手順で行う。
- 体調の変化がある場合は職員間で共有し、経過を記録して保護者に伝える。
- 月齢に合った動きを十分に楽しめるよう、保育室の環境について定期的に話し合い、見直す。
- 泥・水遊び、沐浴時の保育者の役割分担や動線を話し合い、スムーズに進められるようにする。

地域と家庭との連携

- 日々の気候の変化に合わせて柔軟に衣類の調節ができるように着替えの準備をしてもらう。
- 親子ふれあいデーなどの行事があることを前もって保護者に伝え、参加してもらえるようお願いする。また、家庭での子どもとのふれあい方の参考にもなるような遊びや活動を取り入れる。
- 細かな体調の変化もやりとりできるよう、連絡帳や送迎時の時間を活用してコミュニケーションをしっかりととる。
- 食事や睡眠、遊びの様子を丁寧に伝え、成長を感じられるようにする。
- 爪が長いと自分や友達を傷つけてしまうことを伝え、爪切りの協力を得る。
- 散歩の時に笑顔で地域の方と挨拶を交わす。

長時間保育の配慮

- 遊びのタイミングを見計らいながら、こまめに水分補給を促す。
- 室温や湿度を適切に保ち、必要に応じて衣服の調整を行いながら、快適に過ごせるよう配慮する。
- 鼻水や咳などが出ている場合は様子を観察し、保護者と担任に共有する。
- 担任から授乳や睡眠などの生活リズムを引き継ぎ、個々に合わせて対応する。
- 保育室を探索する様子を見守り、子どもの発見や好奇心に寄り添い、信頼関係を築く。

自己評価

- 個々の成長に合わせた食事を進めていくことができたか。
- 戸外で過ごす心地よさや楽しさを感じることができたか。
- 保育者とじっくりと関わりを持ち、親しみを持つことができたか。
- 身の回りを清潔にする気持ちよさを感じることができたか。
- 誕生会に参加し、楽しい雰囲気の中で安心して過ごすことができたか。
- ふれあい遊びを喜び、子ども自ら身体を動かそうとすることを楽しんでいたか。
- 様々な玩具に興味を持ち、触ったり遊んだりすることを楽しめたか。
- 衣服交換や沐浴、水分補給を行い、梅雨期を心地よく過ごせるようにしたか。
- 一人ひとりの欲求を受け止めて、安定した生活が送れるようにしたか。
- 喃語や体の動き等で自分の気持ちを表現できていたか。
- 寝返りやつかまり立ち、伝い歩き、歩行等発達に合った運動を楽しんでいたか。
- 安心した気持ちで眠り、少しずつ布団で入眠できるよう働きかけたか。
- 梅雨期の自然に触れることができたか。
- 保育参観の有無に関わらず、家庭での触れ合いの参考になる遊びを伝えたか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

